
白黒Contrast

深谷 日暮

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

白黒Contrast

【Zコード】

N4718Z

【作者名】

深谷 日暮

【あらすじ】

ここは天界

私たちが住んでいる所よりずっと上にある世界。そこには天使たちが暮らしている。天使とは、神に使える者たちの総称で、背中には大きな白い羽がついている。

それに対する者が悪魔で下界に住んでおり、黒い羽・黒い髪・赤い目をしていると言われている。

これは、そんな天使と悪魔にまつわる物語。

暗い森の中

俺はアテもなく歩いていた。

フラフラして足が思つよつに進まない。

「腹が、減つた……。」

無意識のうちに口から言葉が出ていた。だからといってこれに返事をしてくれる者もいなければ、自分の腹が満たされるわけでもない。強く打ち付ける雨の中、もつ、ダメだ。俺は単純にそう思った。そのあの記憶はない……。

朝

『コツンッ』俺は額に小さい何かが当たったことで目が覚めた。次は肩に、頬に、と次々に何かが降つてくる。周りがなにやら騒がしい。

そのことによる少しの痛みと苛立ちを覚えながらゆくつと体を起した。

すると、小さい何かの代わりに大声が響きわたる。

「うわっ、悪魔が起きたぞっ！」

「キヤー！」

「みんな逃げろ　！！」

思い思いの言葉を残して去つていったのは、数人の子供たちだつた。周りに残された物は、たくさんの中石と足跡、あちこちの落ちている小さい“白い羽”。

何事も無かつたかのよつに立ち上がりつとしたとき、そばにあつた水たまりが目に付いた。

そこに映っていたのは、

“ 黒い翼 ” を持ち “ 黒い髪、赤い目 ” をした自分の姿

その時、一枚の白い羽がヒリヒリと舞いながら水たまりに落ちた。
波紋が広がりゆがむ顔

それはまるで自分が見下され、 非難ひなんされているようだった。

“ 悪魔 ” のようだ、と……

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4718z/>

白黒Contrast

2011年12月15日23時47分発行